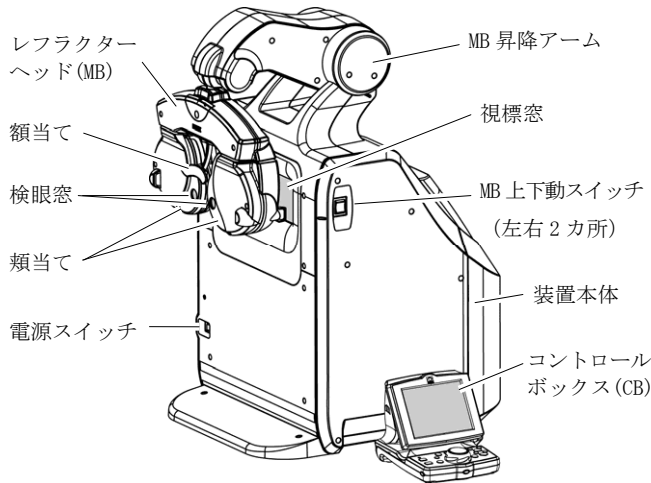


省スペース自動検眼システム TS-310

**【形状・構造及び原理等】



1.構成

基本構成

装置本体、レフラクターヘッド、コントロールボックス、電源コード、取扱説明書

*オプション

EyeCare カード、通信ケーブル、CB トレー、メモリボックス

2.体に接触する部分の組成

額当て：ポリプロピレン

頬当て、額当て調節ノブ：ABS 樹脂

水平調整ノブ：アルミ

操作パネル、右/左サイドスイッチ、フロントスイッチ、ダイヤル、ダイヤルスイッチ：ABS 樹脂

**電源スイッチ、MB 上下動スイッチ：ポリアミド系樹脂

コントロールボックスのディスプレイ：一般電気部品

3.電氣的定格

電源：AC100-240V (±10%)、50/60Hz、130VA

4.機器の分類

*電撃に対する保護：クラス I の ME 機器

*電撃に対する保護(装着部):B 形装着部

電磁両立性規格への適合:EMC 規格 IEC60601-1-2:2007 に適合している

5.寸法及び質量

寸法：446mm(W)×519mm(D)×763mm(H) (レフラクターヘッド下降時、コントロールボックスを除く)

446mm(W)×487mm(D)×907mm(H) (レフラクターヘッド上昇時、コントロールボックスを除く)

質量：32kg (レフラクターヘッド、コントロールボックスを含む)

6.作動・動作原理

本装置は検眼レンズを内蔵したレフラクターヘッドを含み、被検者に検眼窓から視力表を見せて検眼レンズを交換しながら被検者の自覚的屈折度の測定を行います。

本装置は、LCD に表示した視標を後面から照明し、凹面ミラーを

介して視認することにより、短い設置距離で検査距離 5m と光学的に同等な視標の呈示を可能にします。

平面鏡を用いた折り返し表示で、検査距離 40cm の近用視標の呈示も行えます。

また、視標輝度を落とし、薄明時の視力を確認できる夜間モードを備えています。

【使用目的又は効果】

使用目的

光学的に遠方及び近方の視標を呈示する視力検査装置と、眼の屈折状態を測定するための様々な度数のレンズを内蔵した機器を組合せて使用する複合機です。

【使用方法等】

1.環境条件

温度：+5～+40℃

湿度：30～90% (結露なきこと)

気圧：800～1060hPa

2.使用方法

基本的な操作は 1)→2)→3)→4)→5) の流れとなります。

1)起動

1)-1. 電源コードをコンセントに接続します。

1)-2. 電源スイッチを ON にします。

1)-3. 始業点検をします。

2)準備

2)-1. 検眼窓、額当て、頬当てを消毒用アルコールを含んだ布で拭きます。

(【保守・点検に係る事項】の 1. クリーニングの項を参照のこと。)

2)-2. 検眼窓に汚れや拭きムラがないことを確認します。

2)-3. レフラクターヘッドを下端まで下げ、被検者をレフラクターヘッドの前に座らせます。

2)-4. 本装置を載せたテーブルまたは被検者用椅子を昇降し、検眼窓と被検眼の高さを合わせます。

2)-5. VD (角膜頂点距離) を合わせます。

2)-6. レフラクターヘッドの PD (瞳孔間距離) を合わせます。

3)検眼

各種検眼を行います。

4)表示・印刷

表示画像を確認し、検眼結果を印刷します。

5)終了

5)-1. 電源スイッチを OFF にします。

5)-2. 電源コードをコンセントから外します。

5)-3. 検眼窓、額当て、頬当てをクリーニングし、次の使用に支障がないように、清潔な状態にします。

5)-4. ダストカバーを被せます。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ・測定前に、検査の目的、方法について十分に説明すること。

(1) 取り扱い

- ・ 検眼窓や視標窓を傷つけたり、指紋、ほこりなどで汚れたままにしないこと。[正確な測定結果が得られない恐れがある。]
- ・ レフラクターヘッドを昇降する際や、レフラクターヘッドが輻輳する操作をする際には、被検者の顔をレフラクターヘッドから離れさせること。また、レフラクターヘッド動作中は被検者の位置を確認すること。[レフラクターヘッドが顔にぶつかる恐れがある]
- ・ レフラクターヘッドや MB 昇降アームの隙間に手や指を置かないこと。[手や指を挟み怪我をする恐れがある。]

2. 移動及び設置等の注意

- ・ 直射日光、スポットライト等の外乱光が視標窓に当たらない場所に設置すること。
- ・ 衝撃、振動の加わらない場所に設置すること。
- ・ 磁力のある物を装置近くに置かないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

- 温度 : -10～+55℃
- 湿度 : 10～95% (結露なきこと)
- 気圧 : 700～1060hPa

2. 耐用期間

新規購入日から 8 年 [自己認証による]

3. 貯蔵・保管

- ・ 直射日光や湿度の高い環境を避け、室温にて保管すること。
- ・ 清潔で乾燥した場所に、荷重の掛からない状態で保管すること。
- ・ 振動、衝撃が加わらない、傾斜のない場所に保管すること。
- ・ 結露させないこと。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

1. クリーニング

- ・ 被検者に接触する部分(検眼窓、額当て、頬当て)は、使用前後及び被検者が替わるたびに消毒用アルコールを含ませた清潔なガーゼ等で拭くこと。ほこりが検眼窓に付いている場合は、拭く前にブローブラシでほこりを取り除くこと。
- ・ 視標窓、瞳孔位置確認窓のクリーニングは、ブローブラシでほこりを取り除き、残った汚れを柔らかい布で軽く拭き取ること。

2. 保守・点検

- ・ 万一装置が故障した場合は、電源コードをコンセントから抜き、装置の内部に触れないで、㈱ニデック又は購入先まで連絡すること。
- ・ しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ニデック

電話番号：0533-67-6151(代)

取扱説明書を必ずご参照ください。